

仙台市における居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の被害並びに現状と業務内容に
ついて
アンケートに見る現在の状況と影響

平成24年2月1日

仙台市内228箇所居宅介護支援事業所へfaxによるアンケートを実施・調査報告

実施時期平成24年1月17日から25日の期間

回答数93通

回答事業所数60箇所(25.9%)

結果の概要

- *介護給付上限区分の変更(区変)及びケアプランの変更が増加しているかの調査を実施
- *結果、以前に比べ全体で、区変では29.3%、ケアプランの変更は45.6%も増加している。
- *なかでも大きな被災を経験した介護支援専門員は、区変で56.5%、ケアプランで65.2%も増加していることが判明。
- *よって大きな被災を受けた介護支援専門員に何らかの支障が生じていることが予想され、心へのケアなど早急な対策が求められる。

実施団体

ケアマネ経営研究会

(神奈川県藤沢市片瀬1-2-34

株式会社日本高齢支援センター内)

代表 戸田正雄

連絡先mail:h-nikkourei@zc.wakwak.com

仙台市における居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の被害並びに現状と業務内容について

アンケートに見る現在の状況と影響

H24・2・1

要旨

東日本大地震による被害が現在の介護支援事業所及び介護支援専門員にどのような影響を及ぼしているのかを把握し、支援の対象である要援助高齢者の状態を改善するための資料を得る目的で調査を実施した。実施方法は以下の通り、回答数は93、回答を寄せた事業所は60で26%であった。

対象	仙台市内の居宅介護支援事業所228箇所
方法	fax送信
実施期間	平成24年1月17日から25日まで
回収数	93通(内無効1通含む)
回収率	25.9%(対事業所割合) 16.2%(対常勤ケアマネジャー数割合)

介護給付上限区分の変更(区変)及びケアプラン変更は全回答数92件の内、区変は27件30%、プランの変更は42件46%が多くなったという回答を得た。なかでも大きな

被災を経験した介護支援専門員では件数は少ないものの区変は57%、プランの変更は65%ものが多くなったという回答で、大きな被災を経験した介護支援専門員の業務に支障が生じていることがうかがわれる。このため介護支援専門員への心のケアを早急を実施することが望まれる

要援助高齢者自身が原因となる区変やプランの変更の原因として経済的不安、将来の不安、親族の問題などが挙げられた。また、介護認定作業に原因があるとい介護支援専門員もおり、介護認定作業の遅滞対策として自治体からの職員の応援なども検討を期待したい。

全市合計		総数	割合	CMが大きな被害を受けた	割合	CMが被害を受けていないか少ない	割合
区変	多くなった	27	29.35%	13	56.52%	14	20.29%
	変わらない	64	69.57%	10	43.48%	54	78.26%
	減った	1	1.09%	0	0.00%	1	1.45%
	合計	92	100.00%	23	100.00%	69	100.00%
ケアプランの変更	多くなった	42	45.65%	15	65.22%	27	39.13%
	変わらない	46	50.00%	7	30.43%	39	56.52%
	減った	4	4.35%	1	4.35%	3	4.35%
	合計	92	100.00%	23	100.00%	69	100.00%

文中CMIはケアマネジャー(介護支援専門員)の略

一方介護サービス事業所による影響はないことが明らかとなった。

今回の調査の結果、介護支援専門員への支援が早急に求められ、介護支援専門員への支援が行われることによって要援助高齢者の状態が安定することが期待される。

仙台市における居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の被害並びに現状と業務内容について

アンケートに見る現在の状況と影響

はじめに

3月11日の被災当時における居宅介護支援事業所への支援として事業所運営の緩和を図るべく要望した結果、厚生労働省より該当の通知(老健局振興課事務連絡平成23年3月22日発出「東北地方太平洋地震等に伴う要援助者等への適切なセイン及びケアマネジメント等の取扱いについて」)の発出、神奈川県介護支援専門員協会による「かながわケアマネ隊」派遣と支援募金を実現し、被災した居宅介護支援事業所及び介護支援専門員への支援を実現してきました。その後、約11箇月が経過する時点における居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の抱えている課題について、課題があるかも含め解決策を見いだす参考となる調査を実施しました。

一部には介護支援専門員の行う支援に介護認定有効期限内での介護度の重度化による給付上限区分の変更(区分変更もしくは、単に区変という)が増えた、もしくはケアプランそのものの変更が増えたという状況がうかがわれました。かりに区変が増えた場合は申請の支援と変更後に行うプランの変更それに伴うサービス担当者会議の開催と、介護支援専門員の業務量の増加が想像されます。ケアプランの変更が増加している場合も同様に介護支援専門員の業務が増えて負担となっていることが予想されるので、この調査をおこないました。

調査の内容

被災状況は各地によって違いがあるなか仙台市の状況は被災をした地域と被災が少ない地域とが含まれていること、人口数も区によってばらつきがあり区の行政状況も違うことから、仙台市の調査は他の被災地の状況に比肩することができるだろうという見込みから仙台市を調査の対象地域としました。

調査は仙台市にある居宅介護支援事業所228箇所及びその事業所に勤務する介護支援専門員に行いました。

仙台市の事業所	事業所数	事業所別回答数	割合%	全回答数
宮城野区	37	11	29.73%	16
若林区	39	9	23.08%	12
青葉区	63	19	30.16%	25
泉区	41	11	26.83%	12
太白区	48	10	18.75%	28
合計	228	60	25.88%	93

いずれも h24年1月13日現在のWAMNETから集計

FAX エラー

13

実施時期は平成24年1月17日から25日の間にアンケート用紙をfaxで送信する方法で行いました。

アンケート実施後、faxによる回収で60事業所から回答があり、これは全体の25.9%にあたります。93名(無効回答

アンケート実施方法

対象	仙台市内の居宅介護支援事業所228箇所
方法	fax送信
実施期間	平成24年1月17日から25日まで
回収数	93通(内無効1通含む)
回収率	25.9%(対事業所割合) 16.2%(対常勤ケアマネジャー数割合)

1件を含む)の介護支援専門員から回答で、これは常勤の者の16.2%にあたります。

調査結果

被災地において区変及びケアプランの変更が増加している原因として考えられることは要援助対象の高齢者自身の問題、介護サービスを提供している事業所に由来する問題そして支援にあたる介護支援専門員自身による場合があるという想定のもと、質問を介護支援専門員の被災状況、事業所の現状そして高齢者の問題とに設問をしました(詳しくはアンケートを参照)。

調査の結果、区変が多くなったという回答は92名中27名で29%にのびりました。ケアプランの変更はさらに多く42名46%にも達しました。結果、区変及びケアプランの変更が多く、それだけ介護支援専門員の作業量が増加し負担がましているかが示されました(下表参照)。

全市合計		総数	割合	CMが大きな被害を受けた	割合	CMが被害を受けていないか少ない	割合
区変	多くなった	27	29.35%	13	56.52%	14	20.29%
	変わらない	64	69.57%	10	43.48%	54	78.26%
	減った	1	1.09%	0	0.00%	1	1.45%
	合計	92	100.00%	23	100.00%	69	100.00%
ケアプランの変更	多くなった	42	45.65%	15	65.22%	27	39.13%
	変わらない	46	50.00%	7	30.43%	39	56.52%
	減った	4	4.35%	1	4.35%	3	4.35%
	合計	92	100.00%	23	100.00%	69	100.00%

1、介護支援専門員の被災状況と支援状況

再掲

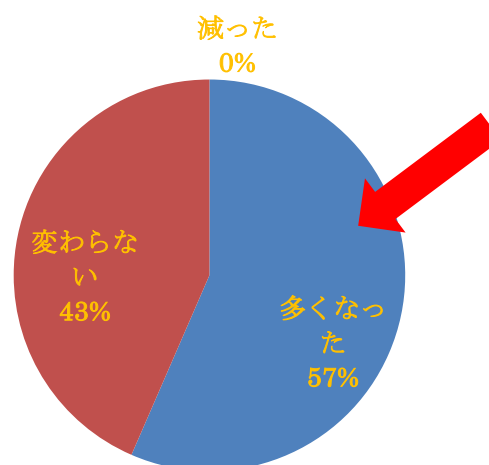
大きな被災をした介護支援専門員はアンケート回答の92名の内23名で全体の25%に及んでいました。少ない被害やほとんど被災していない介護支援専門員は69名、75%でした。大きな被害を受けた介護支援専門員23名の内いまだに被災状況にあるのは14名、61%にのびり、少し被災を受けた、もしくはほとんど被災していない者に比べると被災状況が回復していないことを示しています。

この介護支援専門員の被災状況は区変の増加やケアプランの変更に影響しています。

大きな被災を経験した介護支援専門員が担当しているケースでの区変は23名の内13名で57%ですが、大きな被害を受けていない介護支援専門員の区変は69名中14名、20%とあいだに大きな差が生じています。ケアプランの変更の多さも同様に大きな被害を受けた介護支援専門員では23名中15名65%に対し、被害が少ないかほとんど被害を受けなかった介護支援専門員のプラン変更は69名中26名39%と、大きな差があります。

現在の被災の回復状況で比較しますと、大きな差は見られないことから大きな被災を受けた介護支援専門員に業務執行になんらかの障害が生じていることが伺うことができます。

被災状況による区変の状況 (大きな被災を受けたCM)



介護支援専門員自身被災に影響によって区変やプランの変更が増加していることに気がついていないことが、次の質問で聞いた「ケアマネジャーへの支援がない」の項目に誰も該当していないことからうかがわれます。

こうしたことから介護支援専門員への心のケアこそいま最も求められている支援といえます。介護支援専門員の心の充足から業務の安定化がもたらされ、それが支援の対象である利用者

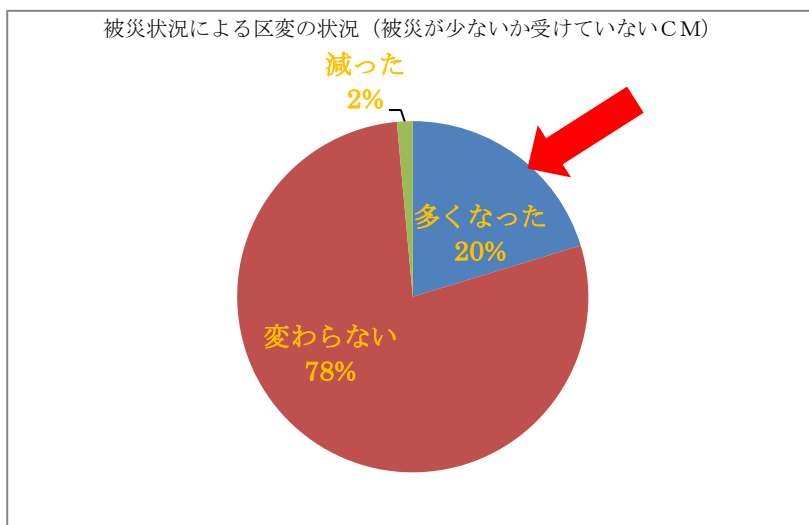
への支援に結実し、結果、よい方向に向うことが期待されます。逆にこのまま介護支援専門員に手を差し伸べることがなく、彼らだけの努力に任せたときは、さらに状態の不安定さが増し、強いては介護に係わる費用の増大につながるものと杞憂されます。

2. 要援助高齢者の状態

区変やケアプランの変更の当事者である要介護の高齢者では精神的な不安、健康への不安、親族の問題、経済的な不安そして将来への不安について介護認定に係わる問題が浮き彫りになっています。

ここであげられた高齢者の不安の解決には介護支援に携わる介護支援専門員の業務範疇とは言えないことから他の方法、たとえば地域包括支援センターや保健所などによる高齢者個々の問題に解決を示すような相談が行われることが望まれます。その相談は全体的な説明ではなく、個々人の生活状態や経済面、家族構成さらには将来に予想される出来事までを視野にいれた個別事情に応じた相談が提供されることが望まれます。

あわせて介護認定に係わる業務の遅滞解消に努力をいただき、ときには他区からの支援や他の自治体職員への応援要請も考慮いただければと希望します。



要援助高齢者の抱える問題	泉区	太白区	若林区	青葉区	宮城野区	総数	割合(%)
精神的な不安	3	12	2	6	3	26	24.30%
健康への不安	4	12	1	2	3	22	20.56%
家族の問題	2	3	3	7	3	18	16.82%
経済的不安	1	4	4	2	2	13	12.15%
将来への不安	1	2	1	4	2	10	9.35%
認定審査結果が遅い	1	2	1	1	4	9	8.41%
認定調査の実施が遅い	1	2	0	1	0	4	3.74%
仕事の不安	0	1	1	0	1	3	2.80%
支援の時間が取れない	0	1	0	0	1	2	1.87%
サービスがない	0	0	0	0	0	0	-
ケアマネジャーへの支援がない	0	0	0	0	0	0	-
パソコンなど備品の不足	0	0	0	0	0	0	-

3、介護サービス事業所

区変やケアプランの変更増加に介護サービス事業所の状況が影響していることが予想されました。しかし介護サービス事業所に関して介護支援専門員が困っているのは92名中11名12%、すこし困っているのは14名15%であるのに対し、困っていないは67名73%となっています。

区変やケアプランの変更に介護サービス事業所が影響していないことが推測されます。

最後に

被災ということがこれほど大きな影響を及ぼしているとは調査するまでは想像もしていませんでした。調査の結果、介護支援専門員の心に深い傷を残し、そのままの状態業務に当たっている介護支援専門員に敬意を払うと同時に介護支援専門員自身自分のことにもケアが行われることを期待したいです。しかし、自分だけの努力には限界がありますので、事業所をはじめあらゆる機関・団体から介護支援専門員への支援が行われるべきであります。このままの状態を放置することは人間として限界を超えることであります。はやく被災からの回復を図ると同時に心のケアを提供していただくよう、早急な手だけが求められます。

同時に今回は仙台市だけを対象に行いましたが、被災された各地でも同様の、もしくはそれ以上の状況であることが予想されます。そのような被災した介護支援専門員への適切なケアが行われるために、該当者へ過度の負担とならない範囲で、このような調査が然るべき団体、組織で行われることを期待し、介護支援専門員へ支援が行われることを熱望します。

問合せ先

株式会社日本高齢支援センター 内 ケアマネ経営研究会

〒251-0032

神奈川県藤沢市片瀬1-2-34

担当 戸田正雄

Mail h-nikkorei@zc.wakwak.com

電話 090-4455-8171 FAX 050-3737-3559

<http://caremanagerjimdo.com>

アンケートの質問項目

【問い 1】 貴事業所の所在はどこですか

青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区

【問い 2】母体法人は 居宅介護支援事業所以外の介護サービス事業をおこなっていますか はい いいえ

ケアマネジャーご自身のことを聞きます(どれか1つに○)

【問い 3】 震災当時の被害の程度はどうでしたか

1 大きな被害を受けた 2 少しだけ被害をうけた 3 ほとんど被害はない

【問い 4】 いまはどうですか

1 いまでも被害がある 2 被害が少し残っている 3 ほとんど回復した

介護サービス事業所のことを聞きます(どれか1つに○)

【問い 5】 利用していた事業所が縮小、廃止などで困っていますか

1 困っている 2 少し困っている 3 ほとんど困っていない

【問い 6】 その原因はなんですか(複数回答可)

1 廃業した事業所が多い 2 利用していた事業所が被災した 3 利用していた事業所の職員が減った
4 自社の事業所が被災した 5 自社の職員が減った

その他(具体的にお書きください)

)

担当している利用者のことを聞きます

【問い 7】 担当している利用者の区変が災害前より多くなった

1 多くなった 2 変わらない 3 少なくなった

【問い 8】 担当している利用者のケアプランの変更が増えた

1 増えた 2 変わらない 3 減った

【問い 9】 区変やプランの変更が多くなった原因は何だと思いますか(複数回答可)

1 経済的不安 2 将来への不安 3 親族の問題 4 仕事の不安 5 健康の不安 6 精神的な不安
7 支援の時間が取れない 8 サービスがない 9 ケアマネジャーへの支援がない 10 パソコンなど備品
が少ない 11 認定審査結果が遅い 12 認定調査の実施が遅い

その他(具体的にお書きください)

)